



学校法人 緑ヶ岡学園

釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 www.midorigaoka.ac.jp

- 釧路短期大学 ● 釧路短期大学附属幼稚園
- 釧路短期大学附属図書館 ● 釧路短期大学生涯教育センター
- 武修館高等学校 ● 武修館中学校



武修館中学校「校外研修」



武修館高等学校「献血奉仕活動」



釧路短期大学附属幼稚園  
「元気いっぱい」



釧路短期大学 生活科学科  
生活科学専攻「地域体験学習」



釧路短期大学 幼児教育学科  
「観察演習」



釧路短期大学 生活科学科  
食物栄養専攻「食品学基礎実験」



## ご挨拶

学校法人緑ヶ岡学園  
理事長 中島 太郎

緑ヶ岡学園は、釧路短期大学、武修館高等学校、武修館中学校、認定こども園釧路短期大学附属幼稚園の4つの学校、幼稚園を運営しており、628名の学生・生徒と74名の園児が勉学等に励んでおります。

本学園は、「愛と奉仕」「人を愛し人に尽くす」という建学精神のもと、昭和39年に創立され、これまで、教育・

研究等を通じての人間形成と地域社会に即戦力として貢献できる学生・生徒の育成を目指し、地域に密着した教育を実践してまいりました。

短期大学には生活科学科と幼児教育学科の二つの学科がありますが、生活科学科の生活科学専攻では、家庭、地域、職業等の生活全般を理解・改善するための幅広い知識、技能を習得し、地域

社会の創造に関わることができる人材の育成を、食物栄養専攻では、ライフステージに対応した健康な生活を創造できる食と栄養の知識、技能を有し、地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。また、幼児教育学科では、次世代を担う子どもたちの心身の健全育成を図ることができる専門的な知識や技術の学びを通して豊かな人間性と感性を持った保育者の養成を目指しております。

高等学校・中学校では、中高一貫コース、普通コース、スポーツコースにおいて文武両道を目指した学力向上、部活動充実のための各種方策を講じるとともに、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神のもと、ボランティア精神の向上を図り、地域を愛し地域で必要とされる人材の育成を目指しております。

また幼稚園は、今年度より認定こども園として認可され、教育目標である「明るく元気に遊ぶ子ども」「素直で優しい子ども」「最後までやり抜く子ども」の育成を目指し、毎日の生活が楽しく充実したものであるように、のびのびと遊べる環境づくりに努めるとともに、全クラス2人担任体制でしっかりとした保育を進めております。

平成から令和へと時代は変わりましたが、今後とも、緑ヶ岡学園は教職員一人ひとりが持てる力を十分に発揮し、お互いが協力し合い知恵を出し合って、地域、保護者の皆様に愛され信頼される学園を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、緑ヶ岡学園に対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 釧路短期大学



### ごあいさつ

釧路短期大学

学長 杉本 龍紀

このたび、釧路短期大学は開学55周年を迎えることができました。ひとえに、釧路地域をはじめとする地元の方々のご理解ご支援の賜と存じます。心より感謝申し上げます。

人口とくに若年人口の減少が続くなか、本年度も定員である100名近くが本学で学び始めました。大多数は釧路管内を中心とする地域からの学生たちで、今春に高校を卒業した若者に加え、とりわけ明確な目的を持ち学習意欲が高い社会人も入学者の1割程度を占めています。

地域から入学した学生たちが新たな「価値」を得て成長し地域に戻り、地域を支え創造する主体として活躍し、その子どもたちもまた地域で……。本学は、このような「人口の地域循環」の結節点として役立つべく努め、これ

までに約4,500人の卒業者を主に釧路管内および道東諸地域に送り出してきました。

本学が、今後ともこの役割を担うためには、変化する社会と地域のなかで学生たちが得るべき「価値」は何かを常に問い続けなければなりません。そのために、地域の諸氏・諸団体のご意見を頂き、本学の教育研究活動等の改善・改革へとつなげること—学生たちが地域・職業で生きる社会人として、より有為な存在となるよう地域社会との連携を深めることが重要になっていると考えます。

これからも長く、学生たちがたくさんの「価値」を得られるよう授業などを改善・改革し、地域に有為な人材を育て、地域に必要とされる高等教育機関であり続けるよう努める所存です。

## 生活科学科 食物栄養専攻

### ◆ 栄養士が具備すべき調理技術の修得のために

釧路短期大学 生活科学科 准教授 室田 享子

食物栄養専攻は、栄養士を目指す学科です。専門職として重要なスキルの一つに調理技術があります。従って、調理実習に関わる教科は、調理学実習(入門・基礎・応用)、栄養学実習(ライフステージ・臨床)、給食実務実習(基礎・校内)と多岐にわたります。

ライフステージ栄養学実習では、乳幼児・学童期の成長や発達、成人期の疾病予防・健康維持、加齢に伴う筋力低下などライフステージ毎の身体特性に応じた栄養・食事を提供するために必要な献立・調理技術を学修します。

学生たちは、教科書や図書館の資料、インターネットからレシピを探し、栄養価計算を行い基準量が満たされる献立を作成し料理の作り方、工程、作業分担などを確認します。

実習では、臨機応変さや素早い判断と行動が必要なこと、班作業は各々の自主性を尊重しながら全員で作るチーム力が求められます。出来上がった料理は、目的通りの献立であったか、食材選びや調理法、味付けや出来ばえなど評価し考察しなければなりません。このような授業を積み重ねる中で料理を知り調理するスキルを身に付け、同時に問題への対応力や人とのコミュニケーション力も鍛えられ養われてきます。

また、栄養計画は、食事を提供する対象者の栄養状態をアセスメントすることからはじまりますがそのためには、何をどの位どのように摂取しているか食事の評価ができなければならず、料理や調理の知識を十分備える必要があります。

学生たちは、やがて栄養士として現場で活躍するために2年間切磋琢磨し調理技術の修得に励みます。



## 生活科学科 生活科学専攻

### ◇ 「愛と奉仕」の心を大切に～実用英語ゼミ

釧路短期大学 生活科学科 講師 岩松 恵

本学の実用英語ゼミは建学の精神「愛と奉仕」の心を大切に、3年前から活動を始めています。ゼミ生は釧路国際交流の会の会員となり、クルーズ船で釧路を訪れる観光客のおもてなしもしています。今年、クルーズ船は10月まで延べ16回釧路に入港する予定です。

連休中の5月1日(水)、今年最初の入港がありました。横浜港を出発し、北米のアラスカへ向かう途中、釧路に寄港しました。船名はウエステルダム。今年入港予定のクルーズ船ではダイヤモンドプリンセスに次いで2番目に大きな船で、乗客は約1,900人です。

学生達は授業の関係で、今年3回しかおもてなしの活動ができませんが、今回は連休中にも関わらず、3名の学

生が参加しました。当日は朝からあいにくの雨で、釧路フィッシャーメンズワーフMOOやEGGを訪れる人はいつもと比べると数分の一。毎回、EGGの中は外国人観光客で賑わうのですが、寂しい感じがしました。

実用英語ゼミでは、卒業生が前年度に出版した2冊の本を利用しました。Let's say "Hello!" on Nusamai Bridge. で釧路市内の紹介をしたり、Let's say "Irankarapte!" in Hokkaido. でアイヌ民族の歴史や文化も観光客に紹介しました。EGGの片隅でしたので訪れる人は少なかったですが、今後も釧路国際交流の会の方々とともに地道に奉仕活動を続けていきたいと思っています。



## 幼児教育学科

### ◇ 幼児教育学科のこの1年

釧路短期大学 幼児教育学科 教授 井上 薫

旧ケア・カレッジ校舎(B棟)の耐震改修が昨年7月末にほぼ終わり、8月上旬以降、学科教員4名が研究室をB棟2階へ移しました。

ここ数年、釧路フィッシャーメンズワーフMOOのEGGで霧フェス時期に行っていた、音楽ゼミを中心とする公演は、7/28(土)、トーンチャイムの演奏とオペレッタ「新・浦島太郎と人魚姫」として盛大に行われ、その後、音楽ゼミはクリスマス・シーズンにも児童館へトーンチャイム演奏に出かけました。

緑輝祭(学園祭)が体育館の改修工事の遅れで12/22(土)へと繰り下がり、継続開催を危ぶまれていたKJCランドは、1/20(日)、体育館と周辺に会場を限定、小規模かつ昼過ぎまでとして、何とか実施できました。参加・

ご来訪の方々は親子で約200名でした。ただし、これまでと違い、2年生の演出を1年生も直に見ることができ、来年のイメージはしっかりと伝わりました。次のKJCランドが楽しみです(来年は1/18、「土曜」です)。

また、3/10(日)には、本学科の進藤信子教授が演奏会を芸術館で開催、ピアノと弦楽器の三重奏で来場の方々を魅了しました。

幼稚園教育要領等の改定に伴い、この春、新たな教育課程の認可を受け、新入生から始めました。入学生も55名と近年になく多く、既に保育観察も始まり、観察後も、新たな「保育内容指導法」で、保育の視点に結びついた観察場面を互いに伝えあいながら、指導のための視点を養っています。以上、この1年の学科の様子でした。





全学

北海道釧路総合振興局と釧路短期大学との防災教育の普及・啓発に関する協定

2019年3月26日(火)に本学にて、国が推進する持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)の理念の下、防災分野における地域防災力の向上と防災教育の発展に寄与する人材育成を目的とした協定を締結しました。協定調印式では杉本龍紀学長と築地原康志局長がそれぞれ協定書に署名しました。

協力内容

- (1) 釧路短大の学生・教職員および学校関係者・地域住民に対する防災教育の普及・啓発
- (2) 双方の資源を活用して行う防災教育の普及・啓発
- (3) 釧路短大の学生が行う防災分野におけるボランティア活動の支援と

連携

釧路地域は、政府の地震調査委員会において、「超巨大地震の発生が切迫している」と評価されており、地震・津波に対する防災対策の充実が求められています。今回の協定の締結は、平時における防災教育に関するものが将来、様々な分野で活躍する学生が防災知識を身につけ、意識を高めることで、現在、将来にわたって地域の防災力向上につながる非常に意義のある取り組みであると考えています。釧路総合振興局も、この協定の締結を機に、若い世代への防災教育の一層の充実を図られるよう積極的に取り組むとのことです。



研究室紹介 幼児教育学科

保育現場の業務軽減について研究しています

釧路短期大学 幼児教育学科

講師 篠木 真紀

2018年度は釧路短期大学後援会研究補助金を受けて、釧路市内の幼稚園、保育園、認定こども園に取材に赴き、各園の連絡帳と業務日誌のフォーマットとそれら業務の進め方について取材をさせていただきました。近年の保育者の方々の多忙原因の一つは、子どもたちと直接関わる以外の業務量の増加と煩雑化ではないかと仮説し、その解消の糸口になればと考えたことが、この研究の始まりでした。

取材をさせていただく中で、業務日誌はもちろんのこと、連絡帳を書く頻度や量、保護者とのどのようにやり取りしているかにかなりの差異があること

が分かりました。例えば同じ幼保連携型認定こども園でも従来の手書き中心からITを用いたシステム構築まで園ごとに全く異なる方法を取り入れています。しかしながらほぼ全ての園が保育者の業務内容を精査したいと思っていること、簡素化できることは簡素化の方向を取りつつも保護者対応やカリキュラム作りは最重要だと押さえている事など、方針については共通するものがありました。今年度はいただいたデータを分析し、その結果を各園に還元し共有していただく中で、少しでも保育現場の負担が減る一助になればと感じております。



研究室紹介 食物栄養専攻

食品学研究室

釧路短期大学 生活科学科 教授 岡本 匡代

食品学研究室は、栄養科学系のほか農学部、畜産学部、水産学部などにも置かれています。食品化学と表すこともありますが、私のように管理栄養士でもある食品学屋は、食品科学と記すことを好みます。前者は食品寄り、後者はヒト寄りという違いがあります。

そもそも食品って何でしょう？ご存知のようにほとんどの食品は元生物です。生物から命を奪うと食品になり、調理しやすく手を加えると食物になります。食品になった瞬間の動植物の見た目は、ほぼ生物です。ハウレンソウなら根から切り離しただけの状態だし、本研究室がよく扱うエゾシカなら横たわっている状態。食品学は、まさにその瞬間の成分(栄養素だったり、栄養素ではないがヒトに作用する物質

だったり、毒だったり)をまず知ろうとするので、いつも死に立ち会います(図1)。

本研究室の軸は動物資源利用なので、学びの舞台はフィールドとラボ。昨年度はゼミ生とともに、野外調査とレシピ開発に明け暮れました。Oさんは「みらいの食べる北海道スープレシピコンクール2018」に「しかのチタタブの豆乳スープ(図2)」を応募し、最優秀賞を受賞しました。お世辞抜きで、おいしい。味の決め手は春の山菜で知られるギョウジャニンニク。パウダーでしたら通年入手できます。レシピは「釧路短期大学食物栄養通信・食べるのお仕事」13号に載っています。釧路短期大学公式インスタグラムをご覧ください。



図1



図2

生活科学科

はじめまして



釧路短期大学 生活科学科  
専任講師 牧野 功樹

本年4月に、釧路短期大学生活科学科の講師に着任いたしました牧野功樹と申します。「簿記」、「PC関連科目」「キャリア系科目」を担当させていただきます。専門は「管理会計」で、経営者の意思決定、原価計算、会計知識について関心を持っています。現在は、中小企業経営者の意思決定が企業のパフォーマンスに与える影響について、研究を進めています。せっかくのご縁を頂きましたので、釧路という土地に研究を通して貢献したいと考えています。

昨年度までは、群馬県の銀行で渉外活動を担当しておりました。個人のお客様の資産運用相談業務から企業の資金繰り対応まで幅広い業務を行ってまいりました。その中でも起業家支援の業務では、新しいものを一緒に作り上げる

という点にやりがいを感じていました。

近年、ビジネスの現場において、証拠に基づく実践(Evidence-Based Practice)の要求が高まっています。短期大学の学習において、学生が基礎的な素養を身に付けることはもちろんですが、自ら意味のある課題を設定し、適切な方法を用いて解決するというプロセスを体験することが重要だと考えています。学生の皆さんが社会において必要される人材として成長できるよう、全力でサポートをしたいと思っています。

経験が乏しい新米教員ですが、学生と一緒に学びながら、同僚の先生方のような立派な先生に成長していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 武修館高等学校



### ◆ 生徒の頑張りに御支援を！

武修館高等学校  
武修館中学校

校長 馬場 保 孝

武修館中学校及び武修館高等学校の教育活動に、日頃より多大なる御理解と御支援を賜り、心よりお礼申し上げます。お蔭をもちまして、昨年度は、難関である医学部への2年連続の合格をはじめ千葉大学、弘前大学、帯広畜産大学、北海道教育大学（札幌校、釧路校2）の国立大学への合格、早期の就職希望者全員内定と、また新たな歴史を積み上げてくれました。また、アイスホッケー部の全国選抜大会3連覇、箏曲部の全国総文祭への代表権獲得に代表される多くの部活動の活躍、中学生を含めた各種検定での上位級合格や各種発表会での上位入賞などの取組と、多くの生徒が頑張りを示してくれました。

平成31年度（令和元年度）の武修館中学校と武修館高等学校の教育活動も4月8日の始業式、そして翌日の入学式によってスタートを切りました。中学校には少し大きめの制服に袖を通し高い志を抱いた12名が、高校には武修館中学から難関大学進学目指して17名が一貫コースへ、競技力アップとトップアスリートを目指して31名が体育コースへ、興味や関心のある学習・部活動に打ち込める環境を求めて65名が普通コースへ、それぞれ入学し、中学38名、高校400名、総勢438名の生徒が自らの夢の実現に向け教育活動に懸命に取り組んでいます。今後とも、本校生の頑張りに御支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ◆ JRC・IAC 加盟登録式

本校では、毎年5月に「青少年赤十字（JRC）」および「インターアクトクラブ（IAC）」の加盟登録式を実施しております。今年は5月17日（金）に釧路ロータリークラブ会長の脇 弘幸様、日本赤十字社北海道支部釧路市地区参与の奥山 栄子様をお迎えし、新たに加盟登録がされたJRC77名、IAC48名の新生へ向けて、バッジの受領と御挨拶を頂きました。

本校では、高校普通コースと中学校

の生徒全員がJRCに、高校体育コースおよび一貫コースの生徒全員がIACに加盟しています。また、本校は2017年から国際ソロプチミストSI釧路より「Sクラブ」の認証も受けており、多くの団体からのご支援を頂きながら、校訓「愛と奉仕に生きる」の実践として三大奉仕活動をはじめとした様々なボランティア活動に積極的に取り組んでいます。



### ◆ 市内一斉清掃奉仕活動

4月12日（金）5・6時間目に、武修館中学校・高等学校 三大奉仕活動の一つ、「市内一斉清掃奉仕活動」を実施しました。

「三大奉仕活動」とは、春の「市内一斉清掃奉仕活動」、夏の「釧路湿原全国車いすマラソン大会応援奉仕活動」、そして秋冬の「献血奉仕活動」の3つのボランティアで、本校の校訓「愛と奉仕に生きる」の実践として毎年力を入れて取り組んでいます。

事前集会で経路や注意事項の説明を

受けた後、中学校・高校の全生徒がそれぞれ釧路市内の5か所に分かれて清掃活動を行いました。学年やコースを超えた仲間と協力しながら、ゴミ袋



いっぱいになるまで一生懸命に作業をし、級友との絆がより一層深まっていくように感じました。また、近隣住民の方々に挨拶をして、「ご苦労さま」と声を返していただく場面もあり、より一層、清掃活動に力が入りました。

日頃より本校を応援してくださっている地域の方々への感謝の気持ちをここの行動で伝えていくとともに、住み良い街づくりに少しでも貢献できたらと思っています。

### ◆ インターアクトクラブ短期海外研修

#### IAC 短期海外研修

3年1組 渋谷 楓華さん

私は、釧路ロータリークラブ様の御協力の下、韓国・ソウルへの海外研修に行きました。3泊4日という短い間の研修でしたが、とても実りのある研修となりました。

初日は韓国に到着後、すぐにホテルへ向かいました。途中、バスの車窓から見た韓国の町並みは、日本とよく似ていると感じました。

2日目は、韓国の公用語であるハングル文字を作り、今では韓国紙幣「ウォン」にも描かれている世宗大王の博物館へ行き、そこでハングル文字の歴史と世宗大王について学びました。

次に当時、豊臣秀吉から韓国を守った国民的英雄と言われている李舜臣の博物館へ行きました。中には亀甲船の縮小模型があり、内部へと入ることができました。李舜臣は豊臣秀吉が朝鮮出兵を行った際に亀甲船を使用し、優れた戦術を駆使して日本軍から韓国を守ったということを体で感じながら学ぶことが出来ました。そして、大韓民国歴史博物館へ行き、普段は見ることが出来ない日本の植民地時代についての展示物や、韓国が発展していく時代の流れについて、深く学ぶことが出来ました。

その後、梨花金蘭高校を訪問しました。生徒が校内を案内してくれましたが、言語の壁はあったものの、それを感じないほどに仲良くなれた事が嬉しかったです。

3日目は、水原華城と景福宮を巡り朝鮮時代の建物を見学しました。日本とは違う文化について知ることが出来ました。景福宮では、王宮守門将交代儀式という王宮で門の開閉や警備を

担った守門軍の交代式を見ることができ、とても貴重な経験となりました。



次に、明洞で約一時間買い物をして、ペインターズヒーローと言うショーを見に行きました。様々な角度から書いた絵を繋げて1つの絵にしたり、ウォーターマールで人魚を書いたり数多くのアート作品を楽しむことが出来ました。

私が韓国での海外研修で印象に残ったことは、現地食べる韓国料理の美味しさと、3,000円以上買い物をすると空港で税金が戻ってくるシステムでした。

この4日間で、ジャージャー麺・ビンバ・スンドゥブチゲ・あわび粥を食べ、韓国料理バイキングにも行きました。やはりどれも日本とは違い、辛いものばかりでしたが、本当に美味しく、幸せでした。4日という短い時間でしたが、韓国文化や国際理解に努める事が出来、他校の生徒とも親睦を深めることが出来ました。改めてロータリークラブの皆さんに心から感謝しています。

私は、将来アジアを中心に世界で活躍したいと考えており、今回の韓国への短期海外研修は有意義で大変貴重な経験となりました。有り難うございました。

### ◆ 「進路資料室」・「学習室」・「図書室」 リニューアルオープン！

これまで生徒の活用が少なかった図書室が、「進路資料室」・「学習室」及び「図書室」の3機能を有する空間として生まれ変わりました。隣には「進路指導室」を設け、生徒の皆さんの進路に向けた悩みや課題解決をスムーズにしています。放課後の開室がベースとなりますが、昼休みや「総合的な学習の時間」などの授業での活用を目指し準備しています。

生徒の皆さんの日々の学習活動を充実させるとともに、読書により人間として大きく成長し、それぞれが掲げる進路目標の実現に繋げていけるよう下支えするのが、この部屋の設置目的です。部屋には、進路指導部の教職員が常駐し、生徒の皆さんがいつでも相談

できるような体制を整えています。進路資料スペースには、大学・短大・各種専修学校の各種推薦制度をはじめとする受験制度についての資料や情報、就職に向けた求人票や企業パンフレット、上級学校受験及び就職受験に関する参考書や問題集などを揃えています。学習スペースは、落ち着いた環境での個別学習が可能となるよう机配





置等を工夫しています。また、図書スペースは、生徒の皆さんの学習に必要な書物、生徒の皆さんの読みたい書物、生徒の皆さんに読んでもらいたい書物と図書を整理し、今後充実してまいります。生徒の皆さんには、この3機能

を有する空間を十分活用し、自らの人間力を高めてもらいたいと願っています。

進路指導部は、今後とも生徒の皆さんの進路実現に向け全力でサポートしてまいります。

## ◆ バドミントン部 高体連釧根支部 男子団体4連覇

このたび、高体連釧根支部予選大会において、男子バドミントン部は団体戦4連覇を果たすことができました。日頃から御指導頂いている岩淵コーチ、応援・御支援してくださった保護者の皆様、教職員の方々、心より感謝を申し上げます。

地区予選が終わり、次回はよいよ全道大会です。3年生は最後の試合になるか、インターハイに繋がるか、といった最も重要な大会になります。キャプテンをはじめとする部員一同、全道大会に向けて中学・高校で培ってきたものを十分に発揮し、部活動に関わっていただいた方々へ感謝の気持ちを忘れることなく、試合に挑みたいと考えています。



また、顧問として、部員たちがこの大会で3年間の集大成を見せられるよう全力で挑んで欲しいと心から願うとともに、部活動を通して、自分自身の未来へ繋がる大切なことを学んでもらえたらと考えています。

今後とも御支援・御声援のほど、よろしくおねがいします。

顧問 扇谷 翔太

## ◆ 剣道部 高体連釧根支部アベック優勝&男子団体13連覇

私たち剣道部は遠藤先生、鈴木先生の御指導のもと日々厳しい稽古を積んできました。その結果、高体連釧根支部予選会において男女団体でアベック優勝を果たしました。また、男子団体においては13連覇を達成しました。日々の稽古の中で「剣道即生活、生活即剣道」を心がけ、生活面から見直した結果、生徒一人ひとりが勝負する気持ちを養うことができました。また、剣道は一瞬の勝負で勝敗が決まります。最後の最後で勝負を左右するのは、相手より勝ちたいという気持ちが強いかどうかだと思います。選手には少ないチャンスをものにし、勝負してほしいです。今後も厳しい稽古を継続し、平成3年以來の団体戦での全国出場、



平成16年以來の個人戦での全国出場を目標に、更なる努力を重ね、これからも先輩たちの積み上げてきた伝統を終わらせないよう努力していきたいです。

良い結果報告ができるよう、全道大会も全力で勝負しますので御声援よろしくおねがいします。

顧問 遠藤 尚也

## ◆ 箏曲部 全国高等学校総合文化祭「2019 さが総文祭」出場決定!

平成30年10月、旭川にて行われました高文連全道大会日本音楽の部において、最優秀賞をいただき、今年7月27日～8月1日の日程で佐賀県にて行われる「2019 さが総文祭」への出場校に推薦されました。少ない人数ではありますが、全道大会では「ハーモニーと迫力が良い、情景が浮かぶような演奏」と講評を頂いたのも、保護者・地域の皆様方、教職員の方々、そして生徒の皆さんの御支援のお陰と感謝しております。

全国大会に向けて、指摘頂いた強弱を意識し、技と表現を向上させるべく「感謝の気持ちを持ち、礼を尽くす」を大切に、芸芸講師の橋本はるみ先生、顧問の佐藤香澄先生の御指導の下、日々練習を重ねています。

「さが総文祭」では全国54校の箏曲



部が華麗な演奏を披露します。優秀賞に選ばれた上位4校は国立劇場での東京公演に出演できます。私たち武修館高校箏曲部は7月27日、上位を目指して、悔いのない演奏になるよう頑張りますので、どうぞ応援の程よろしくおねがいいたします。

部長 木幡 果穂

顧問 佐藤 香澄

## 武修館中学校

### ◆ 英語暗唱大会、釧路地方1位! 舩潟菜々子さん

中学校の3年A組に在籍する舩潟菜々子さんは、平成30年10月に行われた第39回釧路地方中学校英語暗唱大会において、当時2年生の部で1位入賞を果たしました。本校では毎年この大会に向けて、全校生徒が参加する校内大会を行うなど、英語を「話す」力の向上に力を入れて取り組んでいますが、2年生の部1位は初となる快挙でした。

舩潟さんは小学校入学と同時に英会話スクールに通い、英語に親しんでいたそうです。幼い頃からの積み重ねが実を結んだ結果とも言えるでしょう。本校ではまず校内大会を突破しなければ釧路地方大会には出場できません。校内大会に向けては、夏休みから発音や発表の仕方を工夫して練習に励んでいたそうです。そして、校内大会を勝ち抜いた舩潟さんは釧路地方大会に向け、本校のALTや英会話スクールの先生など、ネイティブの方々から指導を受けるようにしたそうです。

釧路地方大会で1位となったとき舩潟さんは「本当にうれしかったです。

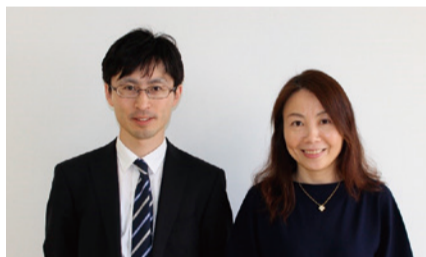
実は校内大会でもう一人同着1位になった子がいたのですが、その子の分まで努力して1位を取ろうと思っていたので、約束が果たせてとてもうれしかったです。支えてくれた方々に心の底から感謝しました。」と語っています。周囲のライバルの存在や支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れないことは大変素晴らしい姿勢です。



「英語は世界中の多くの人々が公用語としているので、英語を学べば自分の世界・視野を広げるチャンスを得られる。私は将来医師になりたいので、医師として、英語を使って世界中のたくさんの人を救いたいです。」そう語る舩潟さんの目は、大きな夢に向かって強い光を放っていました。

### ◆ 新制度「複数担任制」について

#### これからの武修館中学校を担うお二人



数学科の元島恵美先生と英語科の熊谷悠介先生は「複数担任」としてタッグを組んで第2学年の担任を務めています。そんなお二人からお話を伺いました。

Q 武修館中学校での生活はいかがですか?

元島先生(以下「元島」) - とても楽しいです。自分の子どものお弁当作りのために朝5時起きなので大変ですが、担任として授業だけでなく行事なども一緒に過ごすことができ嬉しいです。

Q どんなことに取り組んでいらっしゃいますか?

熊谷先生(以下「熊谷」) - 主に力を入れていることは2点あります。1つ目は、担任業務。僕のクラスの生徒たちが、幸せな学校生活を送ってもらえるよう、常に気を配っています。2つ目は、高3の受験対応。一人ひとりの

希望進路は違います。それぞれが、納得の行く進路に進めるよう全力を注いでいます。

Q 「複数担任制」を実施してみているかがですか?

元島 - 何事も二人でできるので心強いです。私が夢中になってしまい、時間を忘れて話していると、ちゃんと熊谷先生がマキを入れてくれます(笑)。熊谷先生の考え方や物の見方に感心し、学ばせてもらっています。

熊谷 - 実際にやってみて、本当に良かったと思っています。メリットは、自分には無い視点から生徒を見ることができることです。生徒たちも、二人担任がいることで安心できているようです。デメリットは、ないことがデメリットです(笑)。

Q 今後の展望をお願いします。

元島 - とにかく担当しているクラスが、毎日心身共に健康でいられるように。あとは、数学を担当しているクラスの子が授業の内容をしっかり理解できるように、サポートしていきたいです。

熊谷 - 僕を通して、生徒一人ひとりが前進することの意味を見出していれば幸いです。



## 釧路短期大学附属幼稚園



### ◆ こども園になりました！

釧路短期大学ふぞく幼稚園  
園長 森 泉

5月に、元号が平成から令和と変わりました。この令和の時代が、子どもたちにとって穏やかで平和な時代であることを心から願っています。元号が変わった今年、令和元年度より附属幼稚園は、**幼稚園型認定こども園**になりました。市内に幼稚園は23園ありますが、この4月から新たに2園、合計10園（幼保連携型1園、幼稚園型9園）がこども園になりました。こども園とは…

こども園とは、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設で、次の2つの機能を備えていることが求められます。

#### 1. 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能を持つこと

保護者が働いている、働いていないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能を持つこと。

#### 2. 地域における子育て支援を行う機能を持つこと

地域の全ての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などを行う機能を持つこと。

認定こども園には、地域の実情や保護者のニーズに応じて選択が可能となるよう多様なタイプがあります。

#### こども園の主な3つのタイプ

- ・**幼保連携型 0歳からの保育**  
幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ施設です。
- ・**幼稚園型 満3歳からの保育**  
認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えます。
- ・**保育所型 0歳からの保育**  
認可保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えます。

附属幼稚園は、3歳から5歳まで1号（幼稚園としての保育）、2号（保育園と同様の保育）のお子さんに保育を行う**幼稚園型認定こども園**になりました。

#### 移行にあたり変わること…

- \* 附属幼稚園の現在の定員75名を、1号63名、2号12名と変更しました。
- \* 開園時間を8時～18時の10時間から、7時30分～18時30分の11時間に変更し、1号の預かりも11時間としました。
- \* 2号のお子さんのため、土曜日を開園します。

- \* 日曜日の行事開催を取り止め、運動会やお遊戯会を土曜日としました。
- \* 行事の振替休日は1号の園児だけで、2号の園児の振替休日は取りません。
- \* 子育て支援としてお子さん（1歳半～）と保護者が一緒に参加する「さくらんぼクラブ」を週に1回開催します。
- \* 子育て支援として、子育てについての相談をお受けします。



移行にあたって変わらないこと…、附属幼稚園は、こども園になっても、従来の2つの柱は変わりません。  
\* 子どもの遊びを応援する幼稚園  
\* 卒園後を見通し卒園後も見守る幼稚園  
附属幼稚園では「遊び」を大切に、子ども達に、「自分で選ぶ」経験をさせ、環境を整えたダイナミックな遊びを目指しています。



幼児期は人として土台作りの大切な時期であり、「遊び」は、運動能力や興味関心を高め、知的な発達を促して人間関係を培うなど、心身共に健やかに育つため大切なものがすべて詰まっていると考えています。

また、保育の中で体験を重視し、園外保育やクッキング、野菜作りやスケートなど様々なことに取り組んでいます。

附属幼稚園では、「その子が大きくなった時に」ということを踏まえて保育を行っています。卒園後を見通し、卒園後も見守る幼稚園であるために、



各種行事に卒園児を招いたり、卒園児お泊り会を行ったり、小学校との連携も深めています。附属幼稚園はこども園になりました

が、今後も「行きたい幼稚園」「行かせたい幼稚園」を目指して職員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

### ◆ 園外保育 ノロッコ号

附属幼稚園では、毎年2学期に年長のきりん組が、ノロッコ号に乗って湿原展望台に行っています。

昨年は8月23日好天の下、実施することが出来ました。釧路駅までは園バスで行き、ノロッコ号に乗りました。他の幼稚園のお友達、観光のお客さんもたくさん乗っていました。グループごとに座って、窓から景色を見ながら楽しい約30分の列車の旅です。

東釧路駅では、附属幼稚園のお父さんお母さんがホームに出て手を振り、見送りをしてくれました。釧路湿原駅で下車をして、展望台まで長い階段を上り、山道を歩き1km弱の道のりを

30分で歩きました。「暑い。」「疲れた。」の声もありましたが、展望台に着くと視界も開け、みんなで雄大な湿原を眺めました。子ども達は「ヤッホー！」「ヤッホー！」と湿原に声をかけていました。その後、ごほうびにレストハウスでソフトクリームを食べました。レストハウスまでお迎えに来てくれた園バスに乗り、バスの中でお母さんが作ってくれたおにぎりを食べて幼稚園に戻りました。

午前9時から午後1時までの4時間ですが、楽しい旅の体験でした。



### ◆ 祖父母交流会

附属幼稚園では、平成12年度から祖父母交流会を行っています。最初は伝承遊びの披露でしたが、第2回目からは伝承遊びの他にゲームも行い、子どもと祖父母の交流を深めています。

昨年平成30年度は、祖父母交流会を4回実施しました。身体を使ったゲームや散歩等を行って、子ども達も参加されたおじいちゃん・おばあちゃんも楽しめる行事になっています。年に一度交流に伺っている地域の共和老人クラブの方も、参加してくださっています。

#### ～祖父母交流会～

- 1回目は、各クラスの出し物とゲーム
- 2回目は各クラスに分かれて近隣の公園へ散歩や、ごみ探検
- 3回目は、誕生会に参加していただき、ゲートボール大会を開催して、子ども達と祖父母の交流を深めました。
- 4回目には全クラスで緑ヶ岡公園へ散歩をしました。祖父母と関わり、一緒に遊ぶことで、普段は感じることのできない楽しさを子ども達は感じていたようです。

子ども達は、おじいちゃん、おばあちゃんとの散歩を通して、虫や花等の自然の大切さや、公園でのルールを学んでいます。

今年度第1回目の祖父母交流会も先日行い、祖父母27名、地域・保護者が11名参加してくださり、運動会の祖父母競技の「オセロゲーム」を祖父母対園児で行いました。「頑張れー！」という気合の入った応援が飛び交い、ゲームを通して「応援の楽しさ」も感じたようです。

おじいちゃんおばあちゃんの子ども達を見る笑顔と優しい眼差しが、素敵な祖父母交流会です。





## 釧路短期大学附属図書館

### ◆ 学生目線でいっしょに読みたい

#### ～「選書ツアー」春秋二回～

年度初の選書ツアーを去る5月23日（木）、24日（金）に行いました。講義の合間を利用して参加した12名の学生たちが選んだ作品は全部で24点でした。

附属図書館には学生の意見を運営に取り込むため、1999年10月に設立した学生参加型の「ライブラリアン」や「資料整理アシスタント」のシステムがあります。なかから希望する学生が選書ツアーと称して、市内の大型書店に出向き本選びをします。1991年から開始して、21年次を迎えました。

毎年、参加学生は話題の小説や学習の助けとなる参考書など、広く学生に活用されるであろう本を中心に数冊を選びます。

選書した本は各自が通読し、魅力を簡潔に紹介する「POP(ポップ)」と言われる手のひらサイズのPR媒体を制作。情報を一文にまとめて読んでほしいポイントを示し、本に添えて展示しています。例年イラストを得意とする学生も多いことから、デザイン性を重

視したものも多く、来館者の目を引いています。

過去のPOPから1点。2017年秋に選書した『死ぬまでに行きたい世界の図書館』（笠倉出版社、2015年発行）については、次のコメントが用意されました。「世界各国にある図書館には、多くの歴史が詰まっています」「一つひとつ特徴が違い、迫力のある建物ばかり」（生活科学専攻・女性）

学生による選書ツアー。図書館利用促進をめざす学生参加事業です。活動は春秋の年2回。とにもかくにも社会への関心、本への愛着、読んで身につく読書をめざし、取り組んでいます。



### ◆ 図書館の減災対応

#### ～耐震化工事を振り返って～

本学では昨年・平成30年度に耐震化工事を行いました。附属図書館もその対象箇所に含まれていました。館内3箇所の関連工事が予定され、工程表をもとに休館期間を検討しました。どのように設定するか、図書館職員は大変悩みました。学生の図書館利用になるべく支障が出ないように、しかし耐震化工事に合わせて、というのはかなり難しかったです。

学外利用者には申し訳なかったのですが、先行して6月1日から利用停止にさせていただきました。学生・教職員には8月7日から10月4日までの間、休館とし掲示しました。

図書館の工事が本格的に始まって、その期間は資料の一部（雑誌、紀要）も図書館職員も一時的に引っ越しをしました。しかし、休館中もサービスを完全に停止したわけではありません。ことに夏期休業期間中には、保育所実習（3週間）や給食実務校外実習（2週間）などが設定されており、この間の利用者対応は必須のことでした。



実習や就職活動で資料を利用したい学生のために、一時移転した図書館事務室（司書室）のとなりに、学習室も設置しました。そのときの記録を振り返ると、学生、教職員など延べ121人の利用がありました。

結果、平成30年度の開館日数は207日でした（平成29年度は248日）。学外利用者への貸出は、平成29年度の1,428冊から平成30年度は576冊の大幅減。一方、学生への年間貸出冊数は3,796冊という数字でした。学生一人あたりの年間貸出冊数で前年度と比較すると、平成29年度は18冊、平成30年度は20冊ですので、なんとか学生の利用に応えることができたと思います。

耐震化工事のさなかに遭遇した9月6日の北海道胆振東部地震、それに続くブラックアウトの経験は、深い教訓となりました。災害から資料を守り利用者を守るために、従前からの備えを重ねたいと思います。



## 釧路短期大学生涯教育センター

### ◆ 釧路歴史探訪 すでに620話

#### ～地域コミュニティ放送支援～

平成19年4月に第1話を放送した「釧路歴史探訪」という地域コミュニティ放送の番組。今年で第12年次に入りました。放送回数はこの6月最終週で、622話となります。

毎週月曜日の午後6時15分ころから15分間。月曜から木曜日までの午後5時台にはじまるFMくしろ「イブナビ～Evening Navigation～」の時間帯で放送しています。担当は佐藤宥紹生涯教育センター長です。仕事を終えて自宅に向かうマイカーの運転をしながら、聴いてくださる方が多いようです。

佐藤センター長が、これまで担当した釧路市をはじめ、標茶町や厚岸町の自治体史編さんの経験をいかし、話題づくりに努めています。放送初期には、南大通や米町界わいを対象に「橋南学」から80話。

ついで関心を城山・材木町周辺に移

して「城山モシリヤ学」。時に出身地の厚岸町の話も取り上げています。

12年余にわたる放送のなかで「同じ話はしない」をモットーにしつつも、「同じような話にはなりがち」。そう言いながら、毎回400字詰め原稿用紙6枚にまとめ、放送しています。

100話ごとに「釧路歴史探訪 表・裏」とする節目の放送も特色。最近では、「なんのために放送をつづけるの？」の問いに、「それは地域社会の潜在能力を可視化・顕在化するため」と、発言しています。

FMくしろは開局から25年。局が独自に編成し放送する番組の比率が50パーセントを超えています。自主制作番組を高めたい。そうした局の明確な方針のみならず、スタッフの強い決意にこたえ、「創る、育てる、支援する」姿として、番組に参加していると語っています。



出身の厚岸町史の編纂にも関わる、釧路地域史のスペシャリスト。



### ◆ 前田正名、理解基盤の整備

#### ～府県調査、在野時の全国行脚記録～

本学附属図書館に『明治前期地方産業報告書』（全15巻）、『明治中期産業運動資料』（全44冊中 青森・秋田・岩手、福島（3）、鹿児島調査をのぞく）が揃いました。

2つのシリーズはいずれも、前田正名が関係した殖産興業政策にかかわる関係文献です。正名翁は明治維新後から明治23年の帝国憲法発布の直後まで、維新政府の官僚として活躍します。この間に取り組んだ二度にわたる府県調査は、折から当面していたデフレ政策からの脱却をめざす、重要な役割を果たしていると、評価が高いのです。

当地方での前田正名理解は、＜北海道初の紙パルプ工場創業＞とく阿寒湖畔に4,000ヘクタールの国有地払い下げを挙げることが多いです。しかしそれに先立ち、多くの業績があります。一に明治国家建設期の政府官僚として殖産興業政策をすすめていました。二に明治24年、農商務省次官を辞して在野にくだり、全国行脚をつづけて、

各地に足跡を残しました。各地で行った演説、雑誌に掲載した所見、産業組合の大会で述べた挨拶。国立国会図書館に寄託の前田正名家記録から収録されています。

本市には明治17、18年、鳥取県旧士族の移住が行われています。遠く移住を決断した時期の鳥取県事情を理解する資料群です。

旧釧路市と旧阿寒町の合併が行われたのは平成17年10月。母体となる旧釧路市の高等教育機関に「前田正名、理解基盤」が、あっても良いのではないかと。折から釧路商工会議所がすすめていた、「釧路の歴史・産業・観光・文化検定」に参画することによる出資もえられ、蔵書整備に取り組みました。





## 学園事務局



### ◆ 新事務局長よりご挨拶

学校法人緑ヶ岡学園  
事務局長 中井康晴

4月1日より、緑ヶ岡学園の事務局長として勤務しております中井でございます。私は、釧路市役所に職員として39年間勤務し、この3月に監査委員を最後に退職いたしました。市役所時代には、日本がこれまでに経験したことのない人口減少・超高齢化社会を迎える中、次の世代を担う子どもたちに、責任を持って、夢と希望にあふれる「みらい」を引き継ぐことを念頭に、各種の計画を立案、実行しながら、まちづくりに邁進してまいりました。私が市役所時代の仕事を通じて感じたことは、「まちづくりは人づくり」と言われるように、夢と希望にあふれる釧路市を創造するためには、まさしく「人づくり」が最も重要であるということであり、

この度は縁がありまして、緑ヶ岡学

園にお世話になることになり、大変嬉しく思っております。それは、本学園は、「愛と奉仕」「人を愛し人に尽くす」の建学の精神のもと、釧路短期大学、武修館高等学校、武修館中学校、短期大学附属幼稚園を運営しており、まさしく「人づくり」の拠点であるからです。

学園で学ぶ全ての学生・生徒・園児の皆さんが安心して実り多い学園生活を送ることができるように、また「保護者にも地域にも愛され信頼される緑ヶ岡学園」であり続けるために、私も微力ではありますが、精一杯、職務に精励してまいります所存でございます。

そのためには、私自身が一日も早く仕事を習得し、本学園の強力な戦力となるよう努力してまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

## ◆ 釧路緑ヶ岡学園福祉会

美原認定こども園／桂恋認定こども園  
ことぶき認定こども園／双葉認定こども園

2019年4月から「幼保連携型こども園」として4園同時に新しいスタートを切りました。定員数も20人増えて4園合計で295人になりました。

子どもたちの目線にたち、保護者に寄り添った保育に心がけ、より多くの体験や教育にも努めております。

各園には釧路短期大学出身者も数多くおりますが、職種や経験や年齢の違った方々と一緒になってみんなで「認定こども園」を運営しております。

「愛情・信頼・貢献」という理念を胸にいっきした職員の姿をご覧いただけたらと思います。



ことぶき認定こども園



桂恋認定こども園



双葉認定こども園



美原認定こども園

## ◆ 学生・生徒・園児 募集

### 【釧路短大募集要項】

#### 【推薦入学試験】

- ・武修館特別推薦
- ・指定校推薦  
出願期間：令和元年11月 5日～11月14日  
(書類審査のみ)  
合格発表：令和元年11月22日
- ・公募推薦
- ・自己特別推薦
- ・専門科生特別推薦
- ・社会人特別推薦  
出願期間：令和元年11月 5日～11月21日  
試験日：令和元年12月 7日  
(専門科生特別推薦は書類審査のみ)  
合格発表：令和元年12月18日

#### 【一般試験】

- ・Ⅰ期日程  
出願期間：令和2年1月15日～1月29日  
試験日：令和2年2月 1日  
合格発表：令和2年2月 7日
- ・Ⅱ期日程  
出願期間：令和2年2月 7日～2月20日  
試験日：令和2年2月29日  
合格発表：令和2年3月 4日
- ・Ⅲ期日程  
出願期間：令和2年3月 2日～3月11日  
試験日：令和2年3月18日  
合格発表：令和2年3月24日

### 【武修館高等学校募集要項】

- ・推薦入試 令和2年 1月18日(土)
- ・会場 武修館高等学校
- ・専願・一般学力入試 令和2年 2月18日(火)
- ・会場 釧路市観光国際交流センター

### 【武修館中学校募集要項】

- ・推薦入試 令和元年 8月18日(日)
- ・学力入試 令和元年12月15日(日)
- ・会場 推薦入試・学力入試ともに武修館中学校

### 【附属幼稚園募集要項】

- ・認定こども園釧路短期大学附属幼稚園
- ・令和元年10月8日(火)から願書の受付を開始
- ・3歳から5歳まで1号(幼稚園としての保育)、2号(保育園と同様の保育)
- ・定員75名(1号63名、2号12名)
- ・開園時間は、7時30分～18時30分の11時間
- ・給食週5回提供(2号6回提供)
- 〈電話・FAX 43-1773〉

### 編集後記

平成という一つの時代が終わり、新たな時代「令和」の幕が開けました。記念すべきこの年、緑ヶ岡学園も創立55年の節目を迎えることができました。これもひとえに本学園の教育活動に対する皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝しております。この1年の出来事を振り返り、真っ先に思い至るのは9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震ではないでしょうか。被害は甚大で、今なお液状化の影響により不便な生活を強いられている方が多数いらっしゃいます。大規模災害を見据え、日ごろの備えを見直す時期に来ているのかもしれませんが、とかく暗い話題にばかり目が向きがちですが、園児・生徒・学生が未来社会を照らす明るい希望となることを切に願っています。

#### 編集委員

- 斎藤 修(事務局)
- 田澤 央(短大)
- 福崎 寛(短大)
- 種市 裕友(高校)
- 遠藤 倫哉(高校)
- 大場 智司(中学)
- 佐藤 ことり(幼稚園)
- 菊地 正明(図書館)